

連携診療所向け季刊情報誌

TO WA 架け橋

FOUR SEASONS
NEWS LETTER

2023.09

医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。
そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

CONTENTS

- ①白内障について
- ②『第20回 医療法人 東和会 地域連携の会』のご報告

お問合せ 地域連携室

第一東和会病院 TEL：072-671-1118(直通)
第二東和会病院 TEL：072-674-1008(代表)
東和会いばらき病院 TEL：072-623-0234(代表)



白内障について

第一東和会病院

眼科部長

北垣 尚邦



平素より地域の開業医の先生方には大変お世話になり、有り難うございます。

本稿では白内障の症状、原因、治療方法についてご紹介させていただきます。開業医の皆さまにとっては自明のこともあるかと存じますが、少しでも参考になれば幸いです。

白内障の発症確率

白内障は、加齢とともに発症する病気です。60歳代の7割、70歳代の9割、80歳代で10割の方が発症します。現在の日本人の平均寿命は男性81歳、女性87歳。平均寿命のうち、ほとんどの方が白内障になります。

白内障の症状

白内障とは、目の中のレンズの役割をしている水晶体が濁ってしまい、光が通りにくくなり、見えにくくなる病気です。主な症状は次の通りです。

- ・ぼやける
- ・かすむ
- ・まぶしい
- ・視界が暗く感じる
- ・視力が落ちる
- ・だぶつて見える

徐々に進行するため、本人が気づかないケースも多々あります。



▲ 白内障の見え方(ぼやける・かすむなど)。



▲ 正常な見え方。

白内障の主な原因

最も多い原因は加齢によるものです。また、以下のケースでは年齢に比して早く進む可能性があります。

- ・糖尿病
- ・アトピー性皮膚炎
- ・外傷
- ・ステロイド剤の使用などがある場合

白内障の治療

混濁した水晶体を透明にする薬はありません。進行を遅らせる薬はあります。現在のところ唯一の治療法は手術です。手術は黒目と白目の境付近にナイフで幅2mm程度の切開創を作成し、そこから眼内に器具を入れ、超音波の振動で水晶体を細かく砕いて吸い取ります。その後プラスチック製の眼内レンズを挿入し固定します。

白内障の治療方法



治療の新しい選択肢 「多焦点眼内レンズ」

近年、複数の距離に焦点を合わせたり、焦点が合う位置を広くしたりすることが可能な多焦点眼内レンズが出てきています。遠方(5m以上)と読書をする位置(30cm)、パソコンを見る位置(70cm)、カーナビを見る位置(1m)など複数の距離に焦点を合わせることができるようになります。眼鏡を使用しなくても生活をしやすいという利点があります。

白みがかかった景色に見えたりする可能性がある点です。また、多焦点眼内レンズは保険適応外です。現在日本では約5%の普及率です。

早期の治療を推奨しています

一人暮らしで寝たきりになっていたりため病院に通えなかったり、指先が不自由で手術に必要な点眼薬をさすことができなかったりするケースでは、世話をしてくれる方が周りにいないと手術が受けられないこともあります。

白内障が高度に進行すると、手術の難易度が上がり手術時間も長

くなりますし、合併症が生じる可能性が高くなります。人間が得る情報の8割は視覚からといわれており、視力が落ちることで生活の質が落ちてしまいます。移動にタクシーを使ったり、介護が必要になったり、生活コストが上がってしまいます。また交通事故や転倒骨折のリスクが高くなったり、認知症、うつ、神経症が悪化したりする可能性も最近是指摘されています。

このような状況を踏まえて、ある程度の症状が出た時点で早めに治療を受けるよう、当院でも周知していきたいと考えています。



▲ 単焦点眼内レンズ
近くに焦点を合わせた場合遠くはぼやけてしまう。



▲ 単焦点眼内レンズ
遠くに焦点を合わせた場合近くはぼやけてしまう。



▲ 多焦点眼内レンズ
複数の距離に焦点を合わせることができる。
眼鏡を使用しなくても生活しやすい。

『第20回 医療法人東和会 地域連携の会』のご報告

日頃より、医療法人東和会の運営に多大なご支援、ご厚情を頂きまして、誠にありがとうございます。6月11日（土）、『第20回 医療法人東和会 地域連携の会』をホテルグランヴィア京都にて開催致しました。新型コロナウイルス感染症から類相当へと移行したことを受けて、数年ぶりに盛大に開催できましたことを大変うれしく思います。

当日は以下の4講演を拝聴いただきました。

【第一東和会病院の現況と今後の展望】
(第一東和会病院 院長 田中 源重)

【当院における心不全パルスや循環器系の検査について(SAS、冠動脈造影CT)】
(第一東和会病院 副院長 循環器内科部長 福西 貴代)

【当院における消化器内視鏡治療の現況】
(第一東和会病院 副院長 消化器内科部長 時岡 聡)

「COVID-19 に対する取り組み
今までこれから」と

(第一東和会病院 消化器内科 金岡 秀晃)

その後に執り行った懇親会では情報交換等で話も弾み、会は盛況のうちを終了いたしました。多数の先生方にご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。地域の先生方のご理解とご協力のもと、患者さまが安心して、この地域で医療を受けられる体制が構築できていることにあらためて深く感謝いたします。今後とも、医療法人東和会をよろしくお願ひ申し上げます。



第一東和会病院 院長 田中 源重



第二東和会病院 副院長 循環器内科部長 福西 貴代



第一東和会病院 副院長 消化器内科部長 時岡 聡



第一東和会病院 消化器内科 金岡 秀晃



▲ 数年ぶりに盛大に開催することができました。

▶ 日頃の感謝の言葉をお伝えしました。



▲ 懇親会では余興も実施。



▲ 雑談を交えての情報交換も。

今後とも、医療法人東和会をよろしくお願いいたします。